

第9回コミュニティ連絡会議(定例会) 会議録

《日 時》 平成 28 年 6 月 1 日(水) 14 時 00 分から 16 時 50 分まで

《場 所》 市役所 2 階 第 2,3 委員会室

《参加者》 各コミュニティ運営協議会(会長)7 人、市職員(総務部)4 人

1 市との意見交換について

- (1) 新市庁舎建設について、今後の方針を、広報や市 HP など周知していく。
- (2) 被表彰者選考委員会の委員として、二日市東から林田会長を推薦する。
- (3) 明るい選挙推進協議会の理事会について、来年度から、コミュニティの代表者 1 人が参加するよう調整していく。
- (4) 「第二次筑紫野市市街化調整区域整備保全構想」の策定に当たり、各地域におけるワークショップの開催と、審議会の委員推薦について依頼する。
- (5) 各協議会の総会でパートナーシップ協定書が承認された後、7/6 に調印式を行う。

2 各協議会間の情報交換、意見交換

(1) 事務局体制について

- ①市からの簡易な通知等については、7 月以降、協議会の事務局宛に送付する。
- ②各協議会において、10 月までを目処に自治会等に対する連絡体制を検討する。

(2) 総会について

各協議会の総会における質疑等について情報交換を行った。

3 地域コミュニティの情報発信について

- (1) 市と各協議会との協働により、広報、啓発の強化を図っていく。特に地域が保有する動画等について、市民協働推進課へ情報提供のこと。また、本年度の目標は、コミュニティの認知度を 50%以上にする事とする。
- (2) 市公式 HP にコミュニティ連絡会議を紹介するページを設け、これまでの会議録についても一般に公開する。
- (3) 今後、7つのコミュニティによる全体的な学習会の開催について検討していく。

4 その他各出席者から

- (1) 消防後援会の負担金、消防団の地区割り、市老連の地区割りなどについて、コミュニティにおいても意見を交換していくべきとの意見あり。
- (2) 筑紫野市地域コミュニティ基本計画を各協議会に対して 10 部ずつ送付すること。
- (3) 各協議会の総会資料について、他の協議会に対して 2 部ずつ送付すること。

5 その他

次回の会議は、7 月 6 日に開催する。

また、併せて、パートナーシップ協定書の調印式を実施する。